

令和 5 年度 施策評価表

| | | | | | | |
|--------------|--|----------------|-------|---------|----|-------|
| 施策 | 1301 | 農業の生産性の向上と販路拡大 | 施策担当部 | 産業振興部 | 部長 | 浦山 優 |
| | | | 施策担当課 | 農林水産振興課 | 課長 | 山田 充哉 |
| 施策の方針 | 農業所得の向上を図るため、スマート農業の導入などにより、作業の効率化や生産性の向上を図る。また、農産物の販路拡大や6次産業化への取組などを推進する。 | | | | | |
| 関連するSDGsのゴール | | | | | | |

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

| 指標名 | 単位 | 基準値 (R1) | R3目標値 | R4目標値 | R5目標値 | R6目標値 | R7目標値 | R4年度 | |
|------------------------|------|-------------|-----------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | R3実績値 | R4実績値 | R5実績値 | R6実績値 | R7実績値 | 達成率 | 進捗率 |
| ① 認定農業者の平均農業所得 | 千円/年 | 4,400 | 4,720 4,470 | 4,840 4,500 | 4,960 | 5,080 | 5,200 | 93.0% | 86.5% |
| ② 新たにブランド化した農産物の品数（累計） | 品 | 3 | 4 4 | 4 4 | 5 | 5 | 6 | 100.0% | 66.7% |
| ③ 6次産業化への新規参入件数（累計） | 件 | 2 | 3 7 | 3 7 | 4 | 5 | 6 | 233.3% | 116.7% |
| ④ 農業イベントへの参加者数 | 人/年 | 19,000 | 27,000 2,015 | 28,000 27,678 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 98.9% | 98.9% |
| ⑤ | | | | | | | | | |

施策達成状況の説明

①認定農業者の平均農業所得について、所得額の増加者、減少者の傾向は年齢、栽培品目に関わらず変動しており、全体として昨年度から若干増加したもののほぼ横ばいとなり目標を達成できなかった。
 ②③新たにブランド化した農産物、農産加工品の新規参入について、件数は増えていないが、新たな作物栽培の取組みや付加価値のある販売方法などの研究が行われた。
 ④農業イベントへの参加者数については、「第21回牧場まつり」1,890人のほか、おむら海と大地の感謝祭で7,300人、直売所などで18,488人となり、新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら開催が行われた。

施策経費

| (単位:千円) | | R4年度 決算 | R5年度 予算 | R6年度 見込 | 特記事項 |
|---------|--------|------------|------------|------------|------|
| 内訳 | 事業費 | 47,810 | 57,199 | 45,962 | |
| | 国庫支出金 | 5,782 | 3,982 | 4,721 | |
| | 県支出金 | 8,698 | 23,030 | 20,000 | |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他 | 3,423 | 4,814 | 6,014 | |
| | 一般財源 | 29,907 | 25,373 | 15,227 | |
| | 人件費 | 11,698 | 11,237 | — | |
| フルコスト | 59,508 | 68,436 | — | | |

施策の概要（細施策）

| | | |
|--------|----------------|---|
| 130101 | 生産性の向上 | 生産性の向上を図るため、農産物の多収量化や品質向上に向けた栽培技術の確立、生産コストの軽減を目指します。 また、スマート農業の導入や規格外の農産物の利活用への取組を推進します。 |
| 130102 | 農産物のブランド化と販路拡大 | 農産物のブランド化と販路拡大を推進するため、生産者や生産者団体、関係機関等と連携しながら特色ある「大村産」農産物のブランド化を推進します。 また、農産物の流通機能体制の強化を図るほか、直売所の充実に努めます。 |
| 130103 | 6次産業化の推進 | 6次産業化の推進を図るため、農業者が自ら生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）までを一体的に取り組むことや加工業者、販売業者と連携した取組を推進します。 |
| 130104 | 農業体験等による農産物のPR | 大村産農産物のPRを図るため、大村の魅力的な食や農業等に触れることのできる農業体験のほか、各種農業イベントを開催します。 |
| | | |

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

認定農業者の平均農業所得について、燃油、資材等の高騰により経費が高まっているため、生産経費の削減や多収量化のための施設整備等に対する補助を進めることで平均農業所得の向上を図る必要がある。
 農産物のブランド化については、首都圏等のマーケット調査結果を活用しながらブランド化の可能性を見出し、規格外農産物の加工品への利用促進も図りながら消費者のニーズを把握し、市内事業者との情報交換を行いながら、話題性のある大村産農産物の加工品開発につなげていく必要がある。
 農業イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づく「イベントの開催制限」が終了したが、感染症の予防に留意しながらイベントの活性化に努め地域農業の活性化に継続して取り組む必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

生産性の向上について、生産量及び収益性の向上を図るため、施設園芸としていちご、きゅうりやぶどうのハウス新設など国や県の補助事業を活用するとともに、みかん園の若返り及び有望品種への切替に対する支援を継続する。また、認定農業者が活用できる支援策等を広く周知し、スマート農業の取組みに対する支援を推進するなど、認定農業者の生産経費の削減や労力削減のための支援を行い所得向上を図る。
 農産物のブランド化と販路拡大について、規格外農産物の加工品への利用促進を図りながら消費者のニーズを把握し、市内事業者との情報交換を行いながら、話題性のある大村産農産物の加工品開発を支援していく。また、農産物の直売所の新たな開設要望に対し販路拡大への有効性等を考慮し検討していく。
 農業イベントについて、助成対象のイベントについては、地域農業の活性化となるよう積極的に取り組んでいく。

令和6年度新規事業

| 事業名 | 担当課 | 令和6年度見込 | 対象・事業概要など |
|------------|---------|---------|---|
| | | 事業費(千円) | |
| 1 農福連携推進事業 | 農林水産振興課 | 1,100 | 農業者の労働力不足の改善と障がい者等の雇用や社会参画の促進などを農作業を通して実施するため、農業者と福祉事業所のマッチング支援等を大村市内全域で定着させる団体に対し補助。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| | | 1,100 | |